



花き生産情報第2号【要約版】

平成30年5月18日発表
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

施設内の温度変化が激しい時期です。適正な温度管理により高品質な花きの生産に努めましょう。

土壤診断に基づいた施肥設計で、バランスの良い土づくりに努めましょう。

1 夏秋ギク

(1) 生育状況

4月定植の生育はおおむね順調である。一部で白さび病の発生が見られるが、全般に病害虫の発生は少ない。

(2) 今後の作業

- ・切り花品質向上のため、わき芽は小さいうちにかき取る。
- ・白さび病などの発生防止のため、過湿や多肥を避け、早期発見・早期防除に努める。

2 秋ギク

(1) 今後の作業

- ・太さが揃い充実した苗を出荷時期に応じて定植する。
- ・定植後は、気温25℃以上にならないように管理する。

3 トルコギキョウ

(1) 生育状況

春定植栽培の生育はおおむね順調である。病害虫の発生も見られていない。

(2) 今後の作業

- ・展開葉4枚までの苗を定植する。
- ・生育の停滞やロゼットを防ぐため気温が25℃以上にならないように管理する。
- ・立枯性病害が発生した際は、発病株の抜き取り処分を徹底する。

※アップルネット (<http://www.applenet.jp/>) に本文を掲載しています。

◎決め手は土づくり！ 日本一健康な土づくり運動展開中！

◎農薬の使用に当たって、

農薬は適正に使用しましょう。

農薬の飛散を防止しましょう。

農薬は使い切り、河川等へ絶対捨てないようにしましょう。

クロルピクリン剤など土壌くん蒸剤を使用する際は、必ずポリエチレンフィルム等（厚さ0.03mm以上または難透過性の資材）で被覆してください。

農薬情報 (http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/)

農薬登録情報提供システム

【詳細検索】 (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllp301.jsp>)

【作物名検索】 (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllp101.jsp>)

◎春の農作業安全運動を展開中です（4月1日～5月31日）

例年、4～5月は、農作業事故が多くなる時期となっています。

体調やまわりの状況を確認し、安全な農作業に努めましょう。

1 慣れた作業でも油断せず、注意して行いましょう。

2 必ず、作業の合間に十分な休憩を取りましょう。

3 自分を過信しすぎず、無理のない作業を行いましょう。

4 一人での作業は避け、やむを得ず一人で作業を行う場合は、家族に作業場所を伝え、携帯電話を持ちましょう。

5 家族や周りの人など、地域全体で注意を呼びかけましょう。

報道機関用提出資料

担当課	農産園芸課
担当者	野菜・畑作物振興グループ 佐々木主幹
電話番号	直通 017-734-9485 内線 5080
報道監	農林水産部 石戸谷農商工連携推進監 内線 4966